

海を観る 地球を知る

2019 体験！ 海洋研究最前線 in 蒲郡

3/31 SUN

10時～15時

蒲郡市生命の海科学館
1F サイエンスショールーム
* ご自由にご覧いただけます

名古屋大学 宇宙地球環境研究所
蒲郡市生命の海科学館 共催企画



宇宙地球環境研究所
Institute for Space-Earth Environmental Research

ブース1

プランクトン顕微鏡観察



海水の中には、大きさも形も様々なプランクトンが存在します。プランクトンは海の生態系を支える大切な存在ですが、増えすぎると赤潮などの原因にもなります。

★少し大きめの動物プランクトンは倍率の低い実体顕微鏡、
小さめの植物プランクトンは倍率の高い光学顕微鏡で
観てみよう。

ブース2

海の色彩のヒミツ



1億5千万キロメートルの旅をしてきた太陽光は地球上の生命にエネルギーと彩(いろどり)を与えてくれます。

海の色を人工衛星から観測することで植物プランクトンの量を知ることができます。



©JAXA

★分光光度計をつかって、
物の色の違いの仕組みを学ぼう。

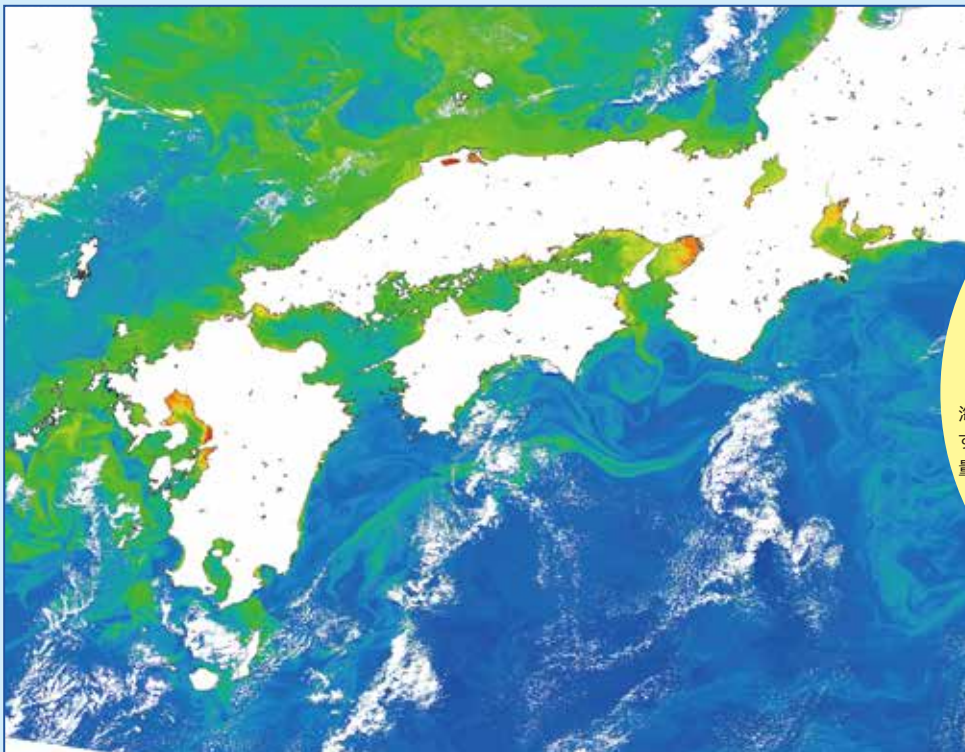
ブース3

回転水槽実験



三河地方に温暖な気候をもたらしている黒潮。黒潮は熊野灘・遠州灘沖を通り過ぎ東に進むにしたがって蛇行し、直径100km程度の渦を作り出します。

★なぜ黒潮の流れがうねるのか？
実験を通して、見て、ふれて、試してみよう。



©JAXA 「しきさい」衛星で測定した植物プランクトンの分布(2018年2月27日)

海の中の雪(マリンスノウ)

講演会

講師 東京海洋大学 特任助教 鋤柄 千穂 さん



11時～12時 / 会場：生命の海科学館 1F メディアホール

定員 60名 / 参加無料 *事前申し込み不要です。直接会場へお越しください。

海の中には「マリンスノウ」と呼ばれる雪のようなものが降っています。このマリンスノウは、深海魚のえさになるだけではなく、地球温暖化にとっても重要な役目を果たしています。マリンスノウはどこからやって来て、どこへ行くのでしょうか？マリンスノウの秘密をめぐり、海の中を探検しませんか？



講演者略歴
1998年 九州大学理学部化学科卒業
2006年 名古屋大学理学研究科地球惑星理学専攻 博士後期課程修了 博士(理学)取得
2006-2009年 東北大学大学院理学研究科 客員研究者
2010-2017年 名古屋大学地球水循環研究センター・大学院環境学専攻 研究員・特任助教
2017年 - 現在 東京海洋大学 船舶・海洋オペレーションセンター 特任助教

地球46億年、あなたにつながるストーリー



蒲郡市生命の海科学館

◀◀◀ がまごおりしいのちのうみかがくかん

〒443-0034 愛知県蒲郡市港町17番17号

http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/

お問い合わせ TEL: 0533-66-1717

【開館時間】
9:00-17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】
火曜日
*年末年始(12/29~1/3)

【観覧料】
高校生以上 500円(300円)
小・中学生 200円(100円)

*観覧料()内は30名以上の団体料金
*蒲郡市在住の方は市民利用証提示で無料



科学館ホームページ